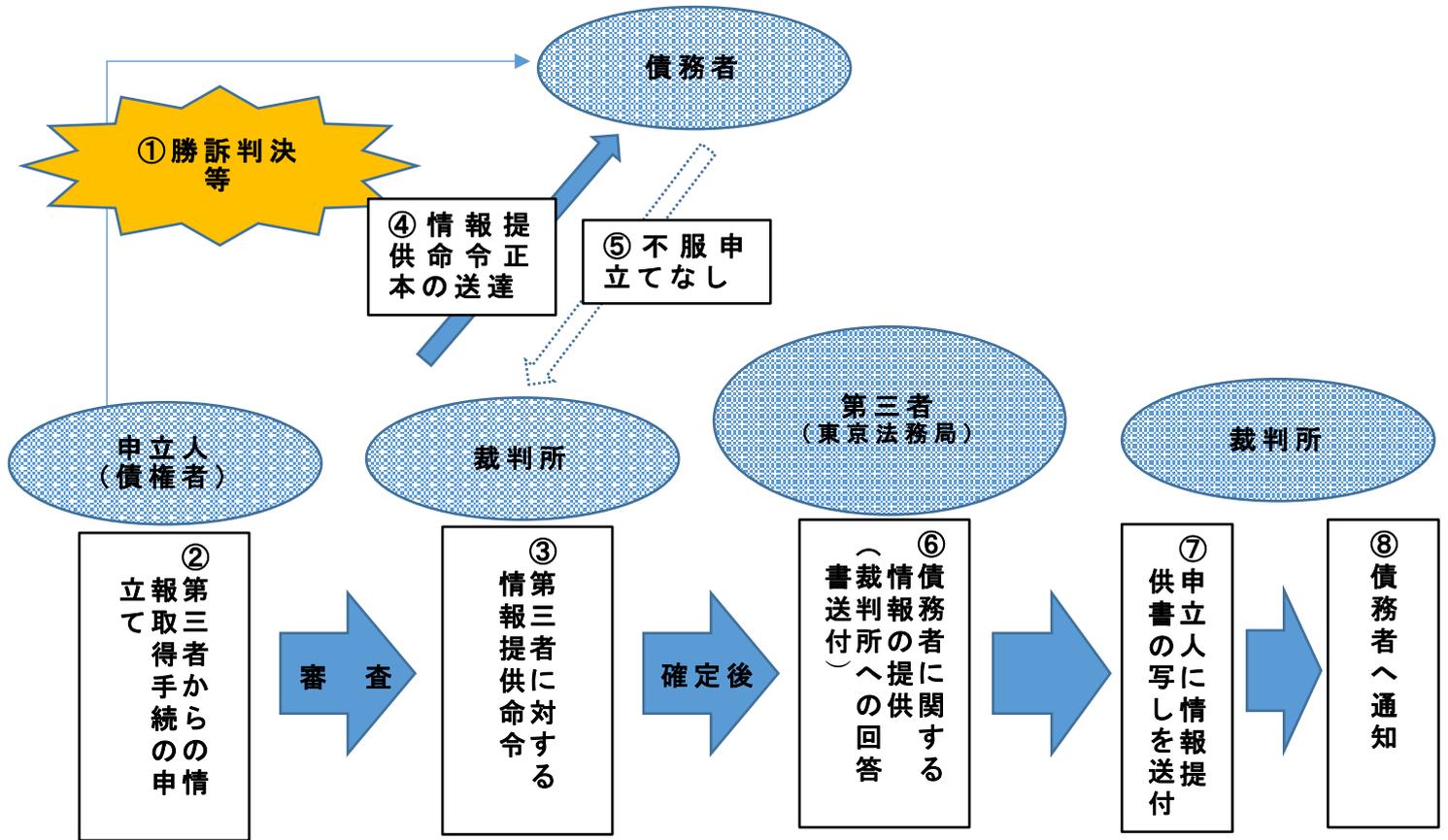


不動産の情報取得手続の流れ



勝訴判決等の債務名義を有しているあなた《申立人（債権者）：以降、あなたのことを申立人又は債権者と記載します。》が、債務名義で命じられた金銭を支払ってくれない《債務者》の不動産を差し押さえるため、《第三者（東京法務局）》が有する不動産の情報を、裁判所の第三者に対する情報提供命令により得ようとする手続です（民事執行法205条1項）。この手続は、強制執行を実施しても完全な弁済を得ることができなかった場合や、知っている債務者の財産に強制執行を実施しても、完全な弁済を得ることができない見込みである場合に申し立てることができます。

申立人から、裁判所に、必要な費用を民事執行予納金として納めていただく必要があります。